

スマートアプ
マチイロスマートアプ
マチイロ発行■伊勢崎市 0270-24-5111 FAX 0270-23-9800
〒372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目41番地 URL <https://www.city.ieselaki.lg.jp>
編集・広報課 印刷■第一印刷株式会社 毎月1日発行

【お詫びと訂正】広報いせさき令和7年12月号32ページ、「明日へジャンプ」の記事の中で、いせさきFMでの放送日に誤りがありました。正しくは、12月26日(金)です。お詫びして訂正します。

魅力ある大学生にもインタビュー

明日へ ジャンプ

特別編 No.205



『伊勢崎てらこや』で培った経験 児童の声に耳を傾けられる先生に

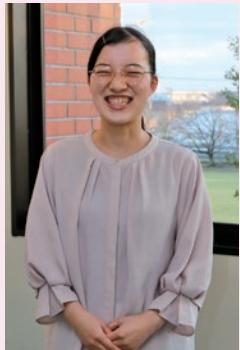
東京福祉大学 教育学部 4年 石川 真望さん

東京福祉大学で教員を志し勉学に励む石川さんは、地域の子どもたちの居場所づくりを目的に活動する学生を中心とした団体『伊勢崎てらこや』で学生代表を務めています。そんな石川さんに活動に参加したきっかけを聞きました。

「大学1年生の時に先輩から教員採用試験にも役立つと勧められたのがきっかけです。そもそも子どもと関わることが好きで、入学後は学業以外にもさまざまなボランティア活動に参加したいと考えていたため、参加を決めました」

これまで『伊勢崎てらこや』の一員として、地域の子どもたちのための催しを実施してきた石川さんですが、実施に至るまでの過程では苦労することもありました。

「やりたいことが明確になつていても、それを実現するためには必要な費用や場所などを限られた時間の中でメンバーと話し合い、調整しなければならず苦労しました。しかし、実際に子どもたちが楽しむ様子を見ると、今までの苦労は報われ、活動を通して子どもの成長を見守ることの喜びを知ることもできました」



プロフィール

いしかわ・まみ
医療系の専門学校へ進学後、教師を志し東京福祉大学に入学した。『伊勢崎てらこや』以外のボランティア活動にも積極的に参加している。趣味は茶道で、大事な茶会を控えた日に、着物を着て大学の講義を受けたこともある。

4年生になり教員採用試験の勉強の傍ら『伊勢崎てらこや』の学生代表も務め、目標を達成する中で、子どもだけではなく多くの大人と関わり、自分とは異なる視点や価値観の重要性に気付きました。大学卒業とともに『伊勢崎てらこや』も卒業となります。が、活動を通じて学んだことを生かし、児童の声に耳を傾け、多角的な視点から児童と接することができる先生になりたいです」

1月23日(金)にいせさきFMで放送します ○午前7時54分～ ○午後1時25分～ ○午後5時50分～

今号では1月11日(日)に開催される「いせさき初市」について掲載しています。私は「いせさき初市」と縁があり、広報課に配属となつて以降毎年取材に出向いています。だるまを売る露店から聞こえる威勢の良い声を聞き、上州焼き饅頭の会場に漂うみそだれの香りに包まれ、ようやく私の新しい年が始まると言つても過言ではありません。今年も活気あふれる本町通りの様子や皆さんのお顔を写真に収め1年の良いスタートを切りたいと思います。

(く)

今月のインフォメーション

編集後記

本市の人口(2025年12月1日現在)

- 人口 211,773人(前月比+118)
- 世帯数 98,267戸(前月比-10)

市税の納期

市民税・県民税・森林環境税(普通徴収) 4期
国民健康保険税(普通徴収) 7期
納期限は2月2日(月)です

問 収納課(☎27-2723)